明治四十一年十二月三日第三種郵便物認可　(日刊)　日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年九月四日（土曜日）　第二千五百五號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●高麗燒と滿洲

滿洲撫順地方に於て往々高麗燒の發掘さるゝを以て取調の爲め工業傳習所森技師は過般同地方に出張此程歸任されたるが今其談を聞くに

南滿鐵道會社撫順炭業所にては附近にて高麗燒を發掘するを以て日々數名の人夫をして蒐収せしめ種々研究を爲し又參考用として日本等へ送り居れるが其窯等實に進歩したるものあり窯築建等にあるものは竈の後方左右に烟出しありて專ら其方へ火力を吸收し爲めに中央には充分火力及ばざる不備の點ありしも撫順にて發見せるものは左右及中央の三ケ所に適當の烟出しあり以て竈中の火熱を平均せしめる構造にして燃料は既に石炭を用ひしもの〻如く日本に於て此二三十年來石炭を用ふるに至りしに比せば實に進歩せるものと云ふ可く其附近にて發掘せし鑑中に古錢ありて其錢の最も古きは前漢武帝時代の五銖錢にして今を去る實に二千二百年前にあり其新しきものを見るも七百五十余年前の錢なるを徴すれば此竈の如き七百年前のものと云ふを得べく而して陶器を燒くに熱を平均させる爲耐火質を以て作れるサヤ等の破片あり又竈中陶器を配列すべき棚及之を支ふ可き棒の如き目下日本其他に於て使用し居れるものに比し遜色あるを見ず七百年前に斯く進歩したるには實に驚かざるを得ず而して之に從事したるは韓人なる哉漢人なる哉に就き考ふるに其時代は該地方一帶に高麗領なりと云ふものあれども記錄の存するものなく土民の傳ふる所に聞けば昔時高麗人非常に入込み居たりと云ふに見れば無論韓人にして清國中南清地方は陶器製造尤も古くより行はれ居たるも滿州地方は反つて韓國より傳授したる傾あり尚韓人は陶器の原料を燃料の所在地に運び初めて製造するの慣ひあるを以て或は撫順に石炭の産出あるを便とし竈等を設けたるものなるべしと推せらる因に撫順にて發掘せる高麗燒は凡て黒色にして壺、一輪挿の如きもの、馬の形をなせるもの等にして現今多少此燒方に似よりたる陶器を本溪湖及奉天近在にて製出し居れるが其種別は洗面器、鉢、カンテラ等の如きものなりと(日韓電通)

●大邱歸客談

吹荒む不景氣風は大邱も同樣從前三萬と稱せられし大邱の韓民は今や僅かに一萬を算ふるのみ何とか救濟の法を講せざるべからず▲農況は大邱に限らず同地方は春來旱天打續きて挿秧期の背雨も全部挿秧を得ず一部不能の個處あり大穀況は不況を傳へられつゝあるも其後天候順境となり豐作の個處多く實際に於て寧ろ好況の方なり▲治道工事も最近一年間に著しく面目を改め當局者の施設宜しきを以て一般に謳歌しつゝあり



第四十二席　桃川燕玉演

中庭を眺めながら聞くともなく耳に入つたのは○「コレ、あれ程言つて聴かして分らねい、貴様のやうな譯の分らねい女もないもんぢやアないか、大概諦めが付きさうなもの、きり〜性根を据ねて判然した挨拶言つて聴かせるが宜い、めそ〜泣いたからつて譯の分るものぢやねい、俺ア嫌ツ面見るのは大嫌だ、それとも強つて嫌れ此れ言やア仕方がねいから、何處へでも持つて行つて宿場女郎に叩き賣つてしまふ、それが嫌なら諾と言つて言ふ事を聴いたが宜からう、さう云ふもんだ、判然挨拶を聴かせねいか」と疊み掛けて談じ付けて居るのはまだ年の若い江戸の者らしい、と泣聲を絞り立てゝ、まだ年のいかぬ娘と見ゆる　女「あなたは酷い人だ、そんな不實意な人と知らず都を出て、是迄來たのは私の誤り、何と言ふてもあなたの言ふ事を聴くことは出來ませぬから、サア寧ろ死して下さるやう　男「馬鹿な事を言へ、殺してしまふ位ならちられつちやら此處迄連れちや來ねい、譯の分らねい女ぢやアねいか」と云ふ、是が式部の耳に入つた　式「はてな、合點の行かぬ二人の話だと、片膝立つて何も樣子を聞からうと云ふ所へ、廊下をバタ〜足音高くやつて來たのは當家の下女で　下「旦那樣、御宿帳を一つ願ひ度う存じます　式「ア、左樣か、此れへ出せ　下女「ハイ」硯箱と帳面を其處へ出した、竹内式部筆を取つてさら〜と已が姓名を書いて　式「是で宜いか　下女「ハイ有難う存じます　式「コレ〜女や、此向ふの離れに男女が泊つて居るやうだが、旅人か、但しは宅の者か　下女「イエ今日御泊りになりました御客さんでございます　式「ハヽア何だ、町人か但しは武家体の者か　下女「ハイ御若い御武家さんでございまして、關東の御方でございまする　式「ホウ女子は……　下女「御女中は京都の御方でございまして、まだ年は十六か七でございまする　式「フーム何か先刻から男と女が話を致して居る、身共の耳に入つたが、合點のいかぬ事がある、貴様達は家業柄、大概一目見たら心付かぬ事もあるまいが、どう云ふ樣子だ　下女「ハイ何だか存じませぬがあの御武家さんが、お若い御女中を江戸まで連れて御出になるのでございますが、どうやらお女中は欺されて京都を出たと云ふやうな工合でございます　式「ホ、ウ　下女「先刻帳場へ御出でになりまして、密々宿の主人に泣いて、御女中が話をなされて御出でゝございましたが、ついまア忙しいから詳くは存じませぬが、何だか御氣の毒のやうに存じます　式「ウーム京都は何處の者だ　下女「ハイあの……此宿帳に書いてございます　式「オーさうか」取上げまして、見ると成程書いてございましたのは江戸の駿河臺、公儀の大番組を勤めまする芝川孝太郎と云ふ者の家來島田小一郎、二十四歳になる男で、女は京都の中立賣通り上る町の德大寺大納言殿侍醫でございまして貴島閑齋と云ふ者の娘初江と申しまする　式「ハヽア彼奴關東の惡士が、年のいかぬ都の女子を唆かして何か惡い巧みをする、宜し、次第に依つたら此奴を引捕へ娘の難儀を助けてくれやう」と女を歸し、軈て床に就いて眠らうとしたがどうも落々寢られませぬのは、海が近いから、宵の中はさうでもございませぬが、段々更けるに隨つて世間が闃寂とすると、岸を洗ひまする波の音がドヾヾドブーリと手に取るやうに聴ねまする、是が氣になつて慣れないとどうも寢られませぬ「波の音聞かじが爲に山に住む、若は色かはる峯の松風」と云ふが、どうも此慣れませぬ内は波の音も松風の音もどうも耳煩さくつて寢られまするものではありませぬ、殊に女の事が何だか氣に掛り、可哀想だと思ひまする所から、床の上に坐り直つた竹内式部バクリ〜烟草を吸ひながら、どうも不愍な女、明日の朝どうかして助けてやりたいものと考へて居る。例の離れ座敷で　女「どうぞ死なして下さるやう、あなた慈悲ぢや情ぢやどうぞ快く死なして下さい　男「何を吐かしやアがる、殺して宜けりやア俺が殺してやる、エ、手前のやうな譯の分らねい女もねいもんぢやアねいか、宜い加減に諦めが付きさうなものだ、エイ此な情知らず、汝のやうな分らない奴はあるもんぢやアねいぞ何だか手荒い事を致しでもするやうな氣色、女はヒイヒイ泣聲を上げて騒いで居る、さア竹内式部ていつか氣になつて、今は堪り兼ねましたからひつくり起上つて短刀前半に手挾んでがらり襖を開き庭へひらりと飛下つて、頓て向ひの離れの戸をがらりと開け、障子を蹴開いて躍込む、見ると女を其處へ取つて押へ、馬乘りに乘掛つた件の若い男が、今短刀を閃めかし脅迫をして居る最中、拳を固めた竹内式部、件の若者の横面をポカーリ張倒した、アッと言つて傍に打倒され　男「アイタヽヽ」頭を押へてムク〜と起上り　男「ヤイ汝はまア飛んでもねい奴、何者だか知らねいが人の座敷へ斷りもなく無闇に飛込んで來るさへあるに、物も言はずに能くも已の頭へ拳を當てたナ、ヤ勘辨出來ねい、飛んでもねい奴、誰に斷つて已は此座敷へ入つた」と力み返る。



京城新報

軍隊增加の必要

國民新聞の暴徒鎭壓論あり

地方に於ける暴徒は今尙は猖獗を極めつゝあり、當局亦た是が掃討に力を盡くしつゝあり、而して頃者更に大掃討に着手するの計畫ありと聞く、余輩は當局者が暴徒掃討に就て大に奮勵せらるゝを喜ぶもの也。然れども我忠勇なる駐韓軍が一意其掃討に力を盡さるゝにも拘らず、暴徒は今に鎭滅せず各所に出沒して暴行を逞ふする所以のものは畢竟兵力の不充分なるに歸因するに非ざるか、是を以て余輩は駐韓軍隊を增加し一擧掃討すべき事を屢々論議したりき

然るに前統監時代に於ては常に暴徒の鎭定近きにありと報じて暴徒跋扈の說を打消すが如き觀ありき、然れども事實は事實也、爾來幾星霜を經過するも鎭滅せざる事實は暴らざるのみならず、今に尙跋扈しつゝあり我政府に於ても此點に就て大に悟る所ありしか、桂內閣の御用紙國民新聞は韓國の草賊出沒は關心の一なりとし、韓國の安寧秩序に關して全部の責任を負擔する日本帝國は果して其責任を遂るに於て不足なき兵力を高麗半島に有するや否や吾人は殘念ながら未だしと云はざるを得ずと斷じ、而して更に曰く若し韓國に我兵力十分ならんか一人を殺さず一彈丸を放たざるも暴徒を鎭壓するを得べし然るに今日迄討伐に次ぐに討伐を以てするも手に餘る所以のものは軍隊の勤めざるに非ず兵力の不充分なるが爲也とし、最後に世界列國も亦日韓兩國の二にして一なるを認識す然るに保護の全責任を有する日本帝國が其脚元に斯る弱點あるは必竟是れ帝國の威信に關する重要の問題也と論ず、先には暴徒の鎭定近きにありと頻りに吹聽したるに、今は桂內閣の機關紙によりて駐韓軍隊を增加せざれば暴徒の鎭壓は難しと斷ぜらる、余輩は聊か奇異の感なきに非ざるも、其論ずる所は眞に當を得たるもの也、機關紙の說或は一の政略より來れるやも知らず、然れども余輩は之が政略たると眞面目たるとを論せず、兎に角暴徒討伐の忽にすべからざるを悟り、之に就て軍隊を增派するの必要を認むることを發表せられしことを喜ぶもの也、暴徒が數年に亘りて跋扈し前途尙鎭定せざるに於ては產業の發達も地方行政の改善も到底行はれざる也、之を鎭定して安寧秩序を確保し、良民をして堵に安んぜしむるは全く帝國の責任也、保護の全責任を有する帝國にして數年に亘るも暴民亂賊を鎭定すること能はずと云ふに至りては眞に威信に關す、列國に對しても全く必苦しきは國民新聞の言への如し、我政府にして軍隊增加の必要を認むるに至りしならば速に之を斷行して暴徒を一掃し以て良民をして安じて業務に勵ましめざる可らず、現在の如き狀態にては地方の開發は到底なし得可らず、余輩は軍隊增加の一日も速ならんことを希望するもの也。

奉天電報

▲安奉線路の復舊

廿九日以來の强雨にて五リウハとコウパクトウ間の橋梁三個所墜落したるが本日漸く復舊したり(同上)

東京電報

▲韓皇太子の參內

韓國皇太子は本日伊藤輔育總裁と共に參內 天皇、皇后兩陛下に謁見せられたり(二日午後着)

▲韓太子函根行啓

韓太子には參內謁見の後午後二時五十分新橋發列車にて伊藤總裁と御同道函根に行啓せられたり同地には大倉喜八郎氏別邸に約一週間滯在の御豫定なり(同上)

▲高平大使の歸着

高平駐米大使は本日午前十一時半新橋驛に歸着各大臣其他の出迎者多數ありき(同上)

▲韓太子の獻上品

韓太子は本日參內の際天皇、皇后兩陛下に左の物品を獻上せられたり(三日午後)

天皇陛下へ 北海道産白熊皮 アイヌ風俗寫眞帖

皇后陛下へ 津輕塗文臺、硯箱 銀製ケンペイ

▲兩陛下の御賜品

韓太子の獻上品に對し兩陛下より最も御滿足に思召され太子へ左の御賜品ありたり(同上)

天皇陛下より 象牙箱、銀製寫眞掛、手函

皇后陛下より 銀製狆の置物、銀製香爐

▲安奉工事の進捗

安奉線改修工事は無事進行しつゝあり一時工事に妨害を加へんとしたる沿線の馬賊等も屛息して何等不穩の擧動なく來る十日より唯一の難工事たる鷄冠山の隧道開鑿工事に着手する筈(三日午前發)

▲統監夫人の歸期

曾禰統監夫人は五日渡韓の途に就かるゝ筈(三日午前)

▲間島と土地所有權

間島問題協定は同地に於ける歷史上淸國法權の支配を受くると共に韓人の土地所有權を享受し得べき事を承認せしめ我國は同地に領事館を設置すべしと(同上)

▲駐韓六師團長決定 木越安綱氏任

第六師團長西島中將は後備に編入せられ其後任には第五師團長木越安綱氏任命せられ木越中將の後任には敎育總監參謀長大谷喜久藏氏轉任し本鄕房太郎氏敎育總監部參謀長に任命せられたり(三日發)

▲嚴祇候官の歸韓

祇候官嚴柱益は本日午後國府津發歸韓の途に就く(三日)

▲虎疫流行地の指定

淸國營口牛莊地方及安東縣地方を虎列拉病流行地として九月八日より指定する旨內務省は告示す(三日午後着)

雜報

●東拓漁業認可理由(庵原漁政課長の談)

東洋拓殖會社は附帶事業として水產業の經營を爲さんが爲め同會社法第十三條に依り日韓兩國政府の認可を願出で去る廿八日主務官廳より許可せられたり右は主として平安道に於て漁業の經營を爲すの目的に出でしものにして從來同道は支那密漁船の最も蝟集せる地に屬し該海面の多大分は密漁船の獨占せしが如き有樣を呈し少許の朝鮮漁船ありと雖も僅かに一部分の漁場を使用するに過ぎざりし狀況なりしが當國漁業法の施行と共に密漁船に對する取締勵行せられ彼等は漸時に退却しつゝあるも之に代て入漁すべき日韓漁民は其數未だ多からず殊に日本漁民は漁場の僻在せるが爲め之に入漁せんと欲せば勢ひ移住を企てざる可からざるの不便を生せし折柄拓殖會社は進んで此地方の漁業經營に任せんとし移住家屋の建設漁獲物の處理及販賣機關等を設備し專ら日韓漁民に便宜を與ふることを旨として其計畫を立て公私上頗る稗益ある計劃なるを以て主務官廳は該會社の經營方針を是認し附帶事業としての出願に對し認可を與へられたるものなり尤も其漁業經營に就ては漁業法規に遵ひ更に免許出願の手續を爲すを要するのみならず其漁場地區の如きも單に空漠たる平安道沿岸全部を占用するを許すの意に非らずして漁業法規に示せる各種免許漁業毎に其必要の地點を撰び成規の手續を經さしむる順序なるを以て從來に漁業の慣行を有し若くは特種の權利ある漁業者の行爲を妨ぐるが如きことは斷じて之れを爲さしめざるの方針なるに因り會社の經營が果して豫期の如く進行せば從來支那密漁船の獲得せし漁利は日韓漁民の獲得に歸するのみならず荒涼無人の地も化して燦然たる漁村の建設を見るべき斯業上近來の一大美擧と謂ふべきなり

●日韓事蹟編纂內容

畏き過日の御思召しに依り今回日韓兩國關係事蹟を編纂する事となり其總裁を既報の如く伊藤公に仰付けられたるに付同公爵は編纂委員數名を選定し御裁可を仰ぎたる上委員の任命あると同時に編纂局を設置し兩國帝室の關係事項より政治、軍事、歷史、地理、財政、經濟、風俗、民情等に涉り巨細調査をなす由なり

●陵園と森林官の新設

陵園墓にして樹木の有る所は四十一個所にして從來宮內府所屬たりし當時に於ては夫々看守の吏員置かれありて相當に保護の途立ち居りたるが本年一月より凡て農商工部の管理保護に移りたると同時に宮內府にては祭祀に關係ある吏員參奉以下の職員を廢止したるが爲め盜伐盛んに行はるゝに至れり之れが爲め陵園墓の威嚴を損ずるのみならず多くは風致及水源涵養の保安に關係あるもの多きを以て其儘に放擲し置くこと能はず依て今般農商工部山林局に於ては七千八百四十圓を豫備金より支出し之れに對して保護の職員を置くことに決定したる由にて其數は山直と稱し百八十三名を置くこととなりたるが其重なる陵園八個所には山直の外山監を置き山監山直の監督は參奉に屬することとなりたり而して其實行は本月よりなすべき筈にて前項八個所の陵園は左の箇所なりと云ふ

東九陵(揚州郡)英寧陵(驪州郡)西五陵順昌園(高陽郡)西三陵昭慶園(高陽郡)洪陵(京城東大門外)裕陵(東大門外)光陵徽慶園(揚州郡)健陵(水原郡)

●忠南連山の水利業事

水利組合法發布以來密陽の灌漑事業が好成蹟を收めたるは既報せし所にて追々他地方にても其利を覺り計畫中のもの數多なるが忠淸南道連山に於ても同樣の計畫あり江原平野の最隅馬久坪の平野は小テーブルランドの地にして往古は附近樹木の繁茂により灌漑充分に行き渡り三百町歩の面積中耕地二百五六十町歩に上るの有樣なりしが頻年濫伐の結果池溪共に涸渇して水利を缺き今や一面荒廢に歸したるも何分土地肥沃にして雜草繁茂しながら乾田にも勝へざる狀況なるを以て一里許の個所より河水を引用し河水を以て二百町歩を灌漑し其不足分を溜池を設けて灌漑を充分ならしむる計畫にて目下既に萬般の計畫を了し其工事費を農銀に仰ぐべく交涉中なれば不日工事着手の運に至るべしと

●八月下旬の外國貿易

本年八月下旬の輸出入比較左の如し

區別	本旬 本年分	前年同期
輸出品價	三七五、一八〇	三四一、〇一九
輸入品價	一、〇二一、四四五	一、一八九、〇八三
合計	一、三九六、六二五	一、五三〇、一〇二
輸入超過	六四六、二六五	八四八、〇六四

同じく貿易額の港別は左の如し

港別	本旬分 輸出額	輸入額	計
仁川	五六、五三三	三三三、六六四	三九〇、一九六
釜山	七一、七二七	二三九、〇八〇	三一〇、八〇七
元山	九、四一九	七二、四五七	八一、八七六
鎭南浦	六六、八八六	五五、四四四	一二二、三三〇
京城	六、一一九	二〇六、三三三	二一二、四五二
群山	一八、八五七	二五、〇七三	四三、九三〇
木浦	一三、七六〇	二一、一七三	三四、九三三
馬山浦	一、八九三	三、四四一	五、三三四
淸津	一、〇五三	五七、〇九九	五八、一五二
城津	六、三五〇	一一、一七三	一七、五二三
新義州	一九、六〇四	四八、一七九	六七、七八三
計	三七五、一八〇	一、〇二一、四四五	一、三九六、六二五

●韓銀ご度支部の警告

今回の韓銀株募集は投機者流の容景氣的應募を防止するの趣旨なる事は既報の如くなるが度支部は右取扱銀行を監督に屬するものに對して證據金又は拂込金の融通を需むる者ありたるときは克く玉石を鑑別し此等投機者流の利用する所とならざる樣注意すべき旨を警告し且つ地方在住取引者へ對しては初日に申込まざれば募入漏れとなるやも知れざる旨を注意すべき旨命令せりと云ふ

●木把騷擾事件の落着

鴨綠江源木取扱に關しては時尾營林廠長在安東岡部領事及鎭東邊道臺間に於て屢々協議を重ねたるが其結果同江上流に於ける流木は淸國側より責任ある官吏を派し營林廠員と立會の上之れを檢査受領し而して淸國側の手にて流下し『ホクカドウ』に到着の上營林廠にては淸國官吏と立會檢査をなして之れを受領し其員數に對し流下賃を支拂ふことに決定したるが木把等も右決定に滿足し全然騷擾の擧動を止め鴨綠江沿岸は鎭靜に歸したる旨統監府へ公報ありたりと

●免稅工業用器具種別

昨年法律第二十一號に依り關稅を免除せらるべき鑛業用器具に關し今回關稅局に於ては『鑛業用器具とは鑛業に必要なる器具にして金製品及其部分品又は附屬品と謂ふ但し器具の材料にして鑛業必要上全製品として輸入することを得ず且つ之れに簡單の工程を施すに因りて直に全製品たる可きものは器具と見做す』との解釋を一定し各稅關へ通達したりといふ

●商業會議所聯合大會

毎年十月上旬開催すべき商業會議所聯合會は本年は緊急を要する關稅改正問題等の爲め一ヶ月繰上げ本月拾四日開催する筈なり

●本年の農作豫想(中村農務局長の談)

本年の農作に就き中村農務局長は語りて曰く近來地方官が勸業上に多大の注意を拂ふに至りたるを以て農作の狀況等に就きても中央政府への報告頻々として到達するに至りしが就中蟲害水害旱害等の出來事に就ては其の報告も少なからざる故に其記事のみを見て深く農界の事情に通せざるものは本年の農作も悲觀すと雖も是等諸種の被害は概ね一局部に止るが故に韓國全體より打算する時は左程重きを置くに足らず寧ろ今後の天候如何は本年農作の豐凶に重大なる關係を有す目下の狀況より見れば世人の思惟する如く不作に非ず平年作と樂觀すべしと

●京城文庫の近況

文庫は玆に半歲の日子を重ねたるが今其の狀況を聞くに七月以降に於ける書籍寄贈者の重なるものは木內農商工部次官、原田京城日報主筆、井上、吉松、隈本等の各書記官、飯島榮太郎、廣江澤次郎、廣瀨殖產會社長、淸水農學士、農商工部農務局、東京博文館、日本電報通信社、明治中學會、大阪、鐘美堂の諸氏にして台計約八百一日平均十二冊强に恰當し尙書籍以外別に京城廣江商會よりは閱覽者の爲めに烟草『八島』百本入二十函を寄贈せり而して閱覽人員は七月百七十五人八月三百二十八人通計約五百一日平均八人を算し其種類別は文學物最も多く傳記、法律、紀行、地理之に次ぐ又た閱覽者は官吏其他一般研究者等多く當地實業家最も少しと云ふ

●解散軍隊の運動

一昨隆熙一年に於ける解散軍隊の將校連は頭者寄り〱集會する處ありて今永軍部廢止に際する一時賜金の例に倣ひ既往に遡りて退官賜金の恩典に浴せんとて目下盛んに運動中の由にて一昨二日解散軍隊の幹部連は會合すべき筈なりしも都合の爲め延期したるが尙同將校連は大韓興業會なるものを組織する計畫にて來る五日訓練院に會合凝議する筈なりと

●韓銀株締切手續

韓國銀行株式募集締切手續は各取扱所の報告により設立委員事務所は遲滯なく是を計數し滿株に達したる時は直に募集締切の日時を各取扱に通知し各取扱店は此旨店頭に掲示し其以後の申込を謝絕するものとす而して此結果に於ける過剩株處分は案分を以て整理するか又は小株切捨を爲すかは未定なりと云ふ

●韓銀株振替申込

韓銀株に對する一般の人氣は非常の盛況なるが若し各銀行にて振替申込を許す時は一層の盛況を呈し百倍は愚か千倍以上の多額に達すべきは現下の經濟界より推定するを得べし而して當地一銀支店は斷然振替申込に應ぜざる方針なるが內地にても無論此方針に出づべしと

●兩師團長送迎會

西島第六師團長後備に編入せられ木越中將其後任を命せられたるに付き龍山にては木越新師團長の來任次第盛大なる送迎會を催す筈にて大久保民長初め同地有志は目下相談中なりと

●各大臣の蠶島行

一昨二日李總理朴內相、高法相、李學相及中村農務局長等打連れ蠶島なる園藝模範場を視察したる由にて同場は目下農況視察の上に於て好時期なれば一般人民の視察を許す筈なりと

●水利組合の設置

水利組合に關しては曩きに道書記官會議に於て凝議する處ありたるも議纏らず爾來內部度支部は屢次協商を重ねつゝあるが全北、黃海の兩道の如きは大々的水利組合を設くる計畫ありと

●武官學生の出發

我陸軍中央幼年學校に入學すべき韓國武官學生四十二名は豫定の如く昨三日午前九時南大門發の列車にて小倉大尉引卒し渡日の途に就きたりと

●梅ヶ香丸の招待

新造義勇艦隊第二船梅ヶ香丸は既報の如く愈今四日釜山へ入港し明五日一般の縱覽に供する筈にて海事協會有地理事長より其々招待狀を發せり

●定例參與官會議

昨日は定例參與官會議に付き石塚長官を始め各參與官統監府に參集し各部の政務に對し審議せりと

●龍山民會の召集

龍山民團にては近々民會を召集して小學校開校式に關する件其外重要の議案を附議すべしと云へり

●獨通の電話開通

南山町二丁目獨立通信社は社長牧野務氏病氣全癒したるに因り益業務を擴張する目的にて電話架設出願中の處明日開通番號は一千二百四十五番なり

●大東共報の押收

浦港に於て發行する大東共報第六十三、四號は治安妨害の廉にて內務大臣より發賣頒布を禁止されたりと

●工藤局長の招宴

八日午後六時半より京城ホテルに於て農商工部各員を招待し晩餐を饗する筈にて夫々招待狀を發送せりと

●定例閣議の開催

一昨二日李首相以下各相(度相欠席)內閣に參集定例閣議を開く

●遠藤主計監出發

駐箚軍經理部長たりし遠藤主計監は三日夜行列車にて歸朝せり

●島瀨中佐の入京

陸軍步兵中佐島瀨幸義氏は去る二日入京し旭旅館に投宿せり

●下田文吾氏入京

鐵道院技師の同氏は去る二日入京京城ホテルに投宿したりと

近事片々

▲祖國 本年の米作豫想は五千四百余萬石平年より一割七分の增收是れ稀なる大豐穰

▲韓國 の米作豫想は平年以下との事なれば祖國の豐穰は此際最も意を强するに足る

▲曾禰 統監は胃癌ならざるも長く韓國に居らざるべしと東京の某新聞は報ず是眞か

▲保護 政治多時の今日斯る風說は甚だ面白からず遮莫統監の病速に回復するが第一

▲健全 なる軀幹に健全の思想宿る病弱にては兎角思ひ切たる仕事は出來ず困つた者

▲度相 任善準統監を訪問し密談數時に亘ると之を聞くヨボ共は直に內閣更迭を噂す

▲風說 傳播は韓人の特徴內閣一部の更迭らしく噂す併し時々識をなす事もある也

▲地方 暴徒今尙暴擧を逞ふす之が掃討に就ては當局既に方針確立すと聞く甚だ可欣

▲暴徒、にして鎭定せざれば產業發達も富源の開發も望み難し一擧掃討は帝國の任務

▲間島 の淸兵時々暴行をなすも少數の日本兵現るれば忽に屛息遁逃すと左もあらむ

▲之を 以て見るも間島に於ける日韓民の保護には我兵を常に駐箚せしむる必要あり

▲淸國 は七年計畫を以て海軍の再興を圖ると是れ淸國の現狀に於て不止得の計畫か

▲七年 目には一等戰艦八隻巡洋艦十隻其他の戰艦十隻也と豫想通り出來れば結構也

▲十數 年前鎭遠定遠を率ひて丁汝昌が威張たる事を回想すれば往時殆ど夢路の心地

▲日淸 親善協同一致すれば極東の平和は永遠に堅し反目せば反對の結果を見るべし

▲攝政 王の自覺によりて是非日淸親善を實現し眞に極東の平和を永遠に確保したし

▲老婆 が嚙切れぬ勝栗を小見に食せて胃腸を害す北海道の招殖策は是也と攝爵評す

▲然ら ば韓國拓殖の現狀を攝爵殿は何と評すらむハイカラ拓殖策は實際胃腸を害す

▲月光 障子に松影を映す攝爵直にわれ見やしやんせ筆のないのに月が書くと洒落る

▲豪放 なる攝爵東北至る所に例の氣焰を吐く之に當てられたるもの喜ぶ者怒る者有

●漢江の渡船新規取締

去る三十一日及び本月一日の二回龍山警察……數漸く繁からんとする模樣なるより尙は昨日も引續き視察の上今後は其場所と數を制……

日本赤十字社は曩きに韓國に於ける特別の事情に鑑み日韓人共同の下に一層社業の發……務取扱は自今一層社業擴張上に盡力ありた……

九月一日より兒童を收容して授業を開始したる新築龍山小學校は近々開校式を擧行……名あり職員は男數十人女四人なりと因に……元町の……分校として存置の筈なりと

各渡船場を巡視したるが現在渡船場は七箇所に存在して其收益少なからず自然出願のとなすべしと

●赤十字社役員の囑托

法を制定施行し尙は此程總裁又は社長より新に職員の囑托ありたるに依り石塚總長事委囑することゝなるべし

●龍山小學校の開校式

校に通學し居りし學童も追々轉校し來り目下各級を十一組に分割して生徒總數六百六十數名ありて本日南山本願寺にては例の通り午後八時より演題は左の如し

▲相談の相談▼
（何でも御相談に應じ升）

◎問 私は現在仁川宮町で飮食店を開いて居る者なるが御存じの通の不景氣にて火の消たよう六七人も酌婦を抱へてるのにれ客とては一日に三人あるかなしで夫れもホンの八十錢か九十錢高々一圓四五十錢しか費はぬ客故何うにも斯にもならず何程不景氣なればとて京城は膝元なれば不景氣さが進ふと思ひますに就いては移住致したく思ひますが如何なものか御相談致します猶序に場所は何の邊が宜いかれ報せ下さい（宮町一主人）

◎答 戯言ぢやない、京城の不景氣も敢て仁川に讓らない、計りぢやない君方が移住など爲て吳れなくても君の所謂飮食店は京城には始末に終へぬ程あるのはは先刻御承知だらう到底此所に君を歡迎する餘地を有さないことは言ふを須ゐずである猶夫れ計りでない、縱令君を容るゝ餘地ありとするも本紙は淫賣屋の開業畵策に參與する光榮を有したくないと爾云（係）

◎問 僕は此の頃或る友人に勸められて諸方のキリスト敎會に出入して其の敎化を受けつゝある者なるが故郷に居る兩親は又非常に耶蘇嫌ひであるので僕が洗禮でも受けたと云ふ事でも聞けば非常に立腹するだらうと思ふので純然たる信徒の一人たることを躊躇して居るのだが何だか物足りぬ不安の念があるので一層の事一思ひに萬障を排してバプテスマを受けて終うかとも思ふが之れにも又不安が伴ふ如何にせば此の際に處する最良法なるべきか敢て記者足下に御相談する（花山生）

◎答 バプテスマなるものは入籍手續である、兩親を怒らして迄法定年齡に達したるを利用して自由結婚をするのは日本では野合と云ふのだ、須らく兩親の承諾を得てからになさい、御兩親の此れを嫌はれると云ふにも相當理由はあらうから之れを說破——と云ふも語弊があるが得心の行く樣に話しを濟ませてからになさつたが宜い、現時の若い方は獨りで發溜めからでも生れ出た樣に兩親と云ふ者に著しく敬意を缺く所あるを以て特に云ふ、兩親にさへ滿足を與へる丈けの孝養を竭し得られぬものが神の子には成れんよ（係）

●前科三犯の美人

▲生れは廣島年は二十一仁川萬石洞旅館兼料理店八景園にては一昨日三十圓入りの財布を取り散し置きたること程經て心付きしより其所此所の事とて忽ち同町内の出橋附近の二軒長屋

形も影も見へざるより必定何者にか竊取せられたるに相違なしと其旨警察署に訴へ出でたるより同署刑事は時を移さず同家に出張し種々取調べたるが稼業柄人出入多きも同日は平素に異なり餘りに人の出入りも少なく且つ家人より外滅多に立ち入らざる居間の事とて外來の者にあらざるは明かなるより夫れとなく雇人達の擧動に注目しつゝありしに女中の一人廣島縣高田郡大野村生れの山縣かめ（二二）なるもの擧動何んとなく怪しき所より一先本署に拘引し嚴重身許を取調べたる所竊盜前科三犯の曲者なること判明したるより扱てこそ同家の賊も此れに間違なかるべしと嚴しく取調ぶるも仲々に實を吐かざる由なるが同人は近々一ヶ月程以前同家に傭入れられたるものにして女中などには惜しき程の美人なりと云ふが取調べの進むに連れ或は驚くべき犯罪あるも知べからずと

●巡査殺しの公判

▲西小門外の三人强盜
仁川理事廳裁判所にては來る七日婦女誘拐犯岸邊勇吉外三名の公判を又來る十一日午前十時よりは本年二月二日の夜西小門外に於て警視廳訊問課刑事巡査山本雅夫氏を殺害したる支那人に假裝したる三人組强盜愛媛縣額田郡岡崎町大字六供廿一番地奥谷悦治福岡縣三潴郡西牟田村今町千二百番地津城太八愛知縣碧海郡矢作村百二番戸三補周吉等の公判ある筈なりと云ふ

●京城の虎列拉

▲中部管內に發生
中部管內長橋洞卅一戶金相協方金貞鐵（三二）は一昨二日午前八時頭死亡せしが其の病症の甚だ疑はしき點あるより其の筋にては警察醫をして檢診せしめたる結果虎列拉病と判明せりと昨候柄大に警戒すべき事共なり

●嫉妬喧嘩の滑稽話し

▲氏神ならぬ情婦の仲裁
大和町一丁目に大花亭と銘打つて行燈掛げし料理店あり此亭の女將れ何（四二）は以前當地新町月下樓へ仲居奉公なし居りしものなるが少々の資本の出來たる處より本年五月頭同樓を辭して前記の處に一家を構へ二人の娘めゝを幸ひ之を看板に鼻下連を引込まんものと料理店を開きしが助黨の多き京城の事とて忽ち同町丹の出橋附近の二軒長屋

に住む○○（三四）と云へるが其の姉娘花（十九）を見て涎を流し本年六月頭同樓に登樓し一夜の春を買ひしが病み附きとなり內には妻たる何のあるも顧みず爾來は內を外にしてれ花の許に通ひ居りしがつい此の間の事餘りの事に女房がチョッコン燒き始めしが元となり犬も喰はぬ夫婦喧嘩を始めた末男はフイと家を出しまゝれ花の許に入びたり腰を極めて巫山戲居るにぞれ花は夫れでは不可ませぬ是非一度れ歸りよと勸めしも我家とは云へ少々キマリが惡いとの事に夫れではとてれ花は自分で其の留守宅に出掛け女房れ何に逢ひ其の間に立つて仲裁の勞を取りドウいふ甘い事を云つて胡魔化したか双方機嫌を直したのみならず其の仲直りを大花亭にて催し底拔けの大騷ぎを遣たとは滑稽

●賭博打ちの珠數繫ぎ

▲此の度限り說諭で放免
一昨二日夜八時頭仁川花町一丁目餠商和田元八郎方溫突内にて同人を初め餠行商人濱口吉五郎（五三）同服部庄三郎（三十）及び花町一丁目田淵里次方人力車夫片山芳松（三五）の四名が車座になりて花合せ及びカブと稱する賭博をなし居る所へ花町派出所巡査が踏み込み四名殘らず引つ捕へ珠數繫ぎとなし本署に引致し取調べたる所四名のものは元より賭博を常業とするものにあらずして唯だ三錢乃至五錢位の小額を賭して慰み半分に爲し居りたる旨判明したれば嚴しく後來を戒めたる上此度丈けは許し遣はす下れつと大喝せられウヘエと縮み上つて引き下る

いはく集

▲岡●●●内部次官曰く ナニ僕に妻の有ることを知らなんだと惚れた貴樣が惡いさ
▲熊●●●谷民長曰く 官選には我敢てかんせんづ焉た
▲大●●●岡力君曰く 女房は小間使上りに限るよ實は僕の内のも曾禰家の小間使だつたよ
▲番●●●外貴婦人曰く 妾しも墮落して居るかしら
▲一●●●の瀨驛長曰く バリー直通發車の夢を見ました

●懲役一年六ケ月

仁川宮町二丁目米商中上嘉作方雇人加藤伊三郎と云ふが本年五月頭より花客先き數十軒より百九十余圓を集めながら主人に渡さず淫賣店にて消費したることを去月十七日主人に感づかれ二階より逃走し仁川署に驅け込みたる事は其の當時記したる所なるが右伊三郎は一昨日仁川理事廳にて懲役一年と六ヶ月に處せられたり

●義州の虎疫猖獗

本月一日義州に淸韓人男各一名コレラ病に罹り共に死亡し尙は其の附近に韓人男二女二の同病新患者を出せりと

●梅毒病院の落成

神戸資生分院たる京城梅毒病院は今回相生町（南門湯隣）に新築落成し施療を開始したり院長は元兵庫縣福原驅梅病院醫長たりし得業士盧田耕平氏にして梅毒施療に關しては頗る經驗に富める人なりと云ふ

●浮浪人の拘留處分

廣島縣加茂郡竹原町生れ堀川增吉（三九）は去る八月中旬より一定の住所職業なく京城內を徘徊し居たるを以て浮浪罪として南部署へ引致せらる

演藝

▲歌●●●舞伎座 彰義隊一座本日の替りは江見水蔭氏作の「女漁師」全九場にして役割は左の如し
女漁師たき（西井）漁師大作（仁科）總畑とみ子（桂木）野々井文爾（河野）武田義則（角村）令孃花枝（中村）番頭喜助（大和）村民三太（間宮）片岡利平（松村）漁師爲作（小谷）巡査本間（天草）書生岩田（有村）ナラズの網五郎（北村）漁師吉三（木下）女中れはな（三嶋）石田猛（美崎）骨董屋德兵衛（篠崎）漁師山本秋作（愛澤）はじのれくま（高島）漁師作造（忍）

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

九月四日 舊七月廿日 三碧友引 丁卯 あやふ
△一●白 退歩の日なり他日の爲め宜しく潛勢力を養ひ置くべし△二●黑 陰闇の日なり間違を生じ易し土木鑛山の業に付ては吉とす△三●碧 蹇滯閉塞の日なり創始改易の事凶只旅行動土家宅修理は吉とす△四●緑 壓服屈從を受くる事あり且人の爲め己れの身を損する事あるため已心過剩より大計を誤るあり短慮發端を生ずることあり△五●黄 利△六●白 急進猪突に馳せ誤あり音信より紛評又は奮慨することあり△七●赤 宴に人に和し他日の害損の因を作るなかれ他人の推薦を受くるは調ふ△八●白 口腹の禍を愼しむべし又業務上に付き失体あり細密の留意を要す△九●紫 通達の日なり吉、火を扱ふ業者は火の元の注意を拂ふべし
右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

平民文庫

▲此頃の新聞を見ると解雇廣告の二つ三つ見當らんことはない之れは要するに主人たるものゝ監督の行屆かぬ處あるにも由る可からんも一つは當地に入り込める靑年が多く不眞面目なるに原因するものと見るべきである慨嘆に堪へぬ（への字）▲三日の京城日報に百三十銀行横邊はも出て居ますが此の頃の百三大變に物騷で私も一日の夜飛んでもない目に遭ふ所でした何んとか安心して通行せらるゝ樣して下さい（被害女）▲郵便局長殿に御尋ね致し升配達夫の募集はありませんか猶又配達になりたき如何なる手續致せば御使用下されますか（れ尋ね生）▲淸華亭の今奴は京城日報の三美人の內に入つて居るが今奴が三美人の一人に入る位だから以て京城藝妓の直依も知れたもんだ（阿々子）▲夫れ丈君の見方が違ふ京城の三美人と云たからとて京城中での美人中の最美人と云ふ譯ではない京城美人中の三人と云ふ次第と承知されたし（小僧）▲淸華亭の玉吉と花月の君江とは何處となく能く似て居るが愛嬌は君江の方に團扇を上げるけれど全體に就いては玉吉を推さゞるを得ない特に髮の毛の立派なことに於て（批評子）▲斯う云ふ長い投書が來たが面白いから載せる▲仁川敷島の一山樓の一駒が發溜に落ちたとあつた記事は當人取り消しの通り發溜では無つた▲が豫て馴染の可愛々々の敷島樓の主人の松さんと相引きすべく忍ぶ戀路の暗がりを一足探りに同樓の裏門口迄忍び寄つたは其の夜も更けた十二時過の事▲今日此頃の不景氣に野鹿騷ぎする客もなく部屋〳〵の燈灯うすれ勝ちなを塀の外なる一駒は却つて天の助けと打ち喜んで其所の溝に架けたる橋を渡るも面倒と逢ひたい〳〵の一心からボイと一足飛びに飛び越した▲と思つたは大きな間違け頂天の一駒の足許は美事に狂ふて事實に於て發溜よりは汚ない溝の中へ筋斗打つて眞逆樣にドダンボチャンと落ち込んだのは事實である▲此れは足許が狂つた計りでない一つはた臀——と云ふと優しいが大きなれ尻の重さが手傳つたと云ふのも爭ふべからざる事實である▲更に同人取消し文中の人並よりは大きな眼も此の時計りは懸に眩んで居たと云ふことも事實である▲と迄は既に朝鮮日々子に依つて機敏に紹介せられた事實であるが▲滑稽は此れからであるが餘り長くなるから明日に讓る（係）▲平民文庫の綴物は奇拔だ（小僧）

●誤植 昨二日本紙第三面廣告欄東亞煙草株式會社抽籤當籤番號廣告中第六等二五九四は二九九五及三八五は三九五の誤植に付訂正す

●天氣豫報（自三日午後六時至四日午後六時）
北西の風曇後晴れ
二日（華氏） 最高溫度 七六、二 最低溫度 五九、〇

廣告

公告

韓國銀行株主募集廣告中ノ第七項第二號ノ株式募集申込ノ期限內ニ募集締切ノ手續左ノ如シ
一、韓國銀行設立委員事務所ハ取扱店ノ報告ニヨリ申込株數カ需要額ニ達シタリト認ムルトキハ募集締切ノ日時ヲ各取扱店ニ通知ス
一、各取扱店ハ右ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ募集締切ノ日時ヲ店頭ニ揭示シ其以後ノ申込ヲ謝絕スルモノトス
明治四十二年九月二日
韓國銀行設立委員長 男爵 松尾臣善

第二回營業報告
貸借對照表

資產之部

科目	金額
未拂込株金	二、二五〇、〇〇〇
興業費	九二、二五八、〇六五
貯藏品勘定	一二、〇〇八、五五九
未決算勘定	二一、五二二、七九二
假拂金	七三、五四一、六八〇
有價證券	四、九二四、〇〇〇
銀行預金	四九五、八三八、〇七〇
海外注文品	一五七、五七二、九〇〇
韓國內渡	
代美電氣會社買金	一、二〇〇、〇〇〇、〇〇〇
收入 / 現金	三一〇、九三〇
合計	四、四九七、九七六、九九六

負債之部

科目	金額
資本金	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
契約保證金	八、五一六、四六〇
身元保證金	二六、一三三、〇〇〇
未拂手形	一五六、四二三、一二〇
仕拂入金	六二一、三八三、二八〇
借入金	七〇〇、〇〇〇、〇〇〇
前期繰越金	五、三七七、八一〇
當期利益金	六、〇二五、〇〇六
合計	四、四九七、九七六、九九六

損益計算

科目	金額
收入	一七、〇八二、一二五
支出	一一、〇五七、一一九
差引利益金	六、〇二五、〇〇六
前期繰越金	五、三七七、八一〇
合計	一一、四〇二、八一六
後期繰越金	一一、四〇二、八一六

右之通ニ候也
明治四十二年八月
日韓瓦斯電氣株式會社
專務取締役 岡崎遠光
取締役 高松豊吉
同 久米良作
同 大橋新太郎
同 山口太兵衛
同 白寅基
監査役 伊藤幹一
同 平澤道次
同 金時鉉
右調査候處相違無之候也
取締役澁澤榮一辭任ニ付補缺選擧ヲ行ヒシ處白石直治當選シ監査役任期滿了ニ付改選ノ結果前任者何レモ再選セラレタリ

▲無料紹介欄▼

人事部

●望仲働 配偶者ある二十六の女着実なる家庭の仲働又は針女に雇はれたし但給料八九圓を望む 氏名在社(四二五)

●被雇度 普通教育ある二十八の男一定相當の職業を授けらるゝ仁人君子に遭逢したし但會計事務簿記方などに雇らるれば尤妙 氏名在社(四二六)

●求人 外勤事務員採用午後四時より來談あれ 京城相生町一六南門館 波多野

●求職 年廿五内地商業學校教員奉職中の者諸語及商科一般の智識あり會社商店若くば官署に雇はれたし 氏名在社(四二七)

●下女入用 廿歳前後の下女入用希望者は本人直接來談あれ 龍山停車場前大陽館

●求職 多年小學教育に從事せし者至急相當の職業を求む但給料多きを望まず 氏名在社(四三一)

物件部

●求宅地 官吏むき家屋建築に付き格安の宅地二三十坪買入たし 京城旭町一丁目五十三ノ四 安藤

●龍山電話格安に至急讓渡したし 氏名在社(四三三)

●龍山來設電話賣却又は貸渡したし 氏名在社(四三四)

廣告

消毒防臭剤
クレシン
京城本町二丁目
四ケ所洋物店
電話三二一番

資本金十圓にて
一日壹圓以上の利益ある職業あり
希望の方は御來談あれ
京城黄金町三番戸
國松商會

名譽銀牌受領
キリンビール

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ケ月前金卅五錢 ▲三ケ月前金壹圓 ▲六ケ月前金貳圓 ▲壹ケ年前金…
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢 ▲…廣告五號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 長久神一郎
發行所 京城新報社 京城西署西小門通 電話六六三番